

平成29年度 木と暮らしのふれあい展

10月7日（土）・8日（日）の両日、「第37回木と暮らしのふれあい展」（主催：東京都・一般社団法人東京都木材団体連合会）が都立木場公園（江東区）で開催され、東京事務所も出展し国有林のPRに努めました。

この催しは「森を育てたい。だから木を使おう。」をメインテーマに、都民に木とふれあえる機会を提供し、暮らしの中での木材利用を推進することを目的としています。

当日は、東京都の各木材関係団体等が参加し、木工教室等の木とふれあう体験や木製品の展示販売、木造住宅相談、特産物の販売、アトラクション等が行われました。

東京事務所の出展ブースでは、世界自然遺産のワークブックを配布して貴重な自然環境を有する国有林の情報発信に努めるとともに、もっくん（小枝のキーホルダー）や木の実のリースなどを作る人気の「森林クラフト体験コーナー」を設置し、たくさんの親子で賑わいました。

今回は初日の午前中、雨に見まわれましたが、その後は好天に恵まれ、来場者がどっと押し寄せ、2日間で約7万人にも達しました。

関東森林管理局東京事務所



開会式（沖林野庁長官祝辞）



東京事務所の出展ブース



森林クラフト体験コーナー



もっくん
（小枝や枝の輪切りを使ったキーホルダー）